

小麦栽培情報 1月号

令和6年12月17日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【小麦】

1 施肥

穂数の確保と穂の充実のため、追肥は**1月下旬頃**に実施します。施用時期が早くなると穂数が増え穂の充実が悪くなります。また、遅れると倒伏や成熟期の遅れを招きます。

(kg/10a)

| 品種名 | 前作 | 1月下旬 | | 穂揃期 |
|---------|-----------|-------------|------------------|-----------|
| | | 麦追肥一発 1号 | 硬質小麦 専用追肥3004 | 硫安 |
| シロガネコムギ | 水稻 | 40 | — | — |
| | 大豆 | 30 | — | — |
| ミナミノカオリ | 水稻 | — | 40 | 10 |
| | 大豆 | — | 30 | 10 |

※ 穂揃期追肥を尿素の葉面散布で行う場合、**10a 当たり尿素 5 kg を水 100L**に溶かして散布します。ただし、高温時の散布や、尿素の濃度が高いと、葉焼けの程度が激しくなるため注意します。

2 麦踏み・土入れ

●麦踏み

麦踏みは、分けつ促進や耐寒性の強化、倒伏防止等の効果があります。麦**3葉期**から**2月下旬頃の節間伸長前**までに**3～5回程度**実施します（生育に応じて晩限は前後します）。**ほ場が湿っていると、土壌を締めつけ、生育を抑制することがあるため、土壌が十分乾燥した状態で行います。**特に早播きしたほ場では、倒伏や凍霜害が発生しやすいため、麦踏みを徹底します。

●土入れ

土入れは、倒伏防止や雑草の抑制、排水対策等の効果があり、追肥後に行うと肥効が安定します。**1月上中旬頃から3月上旬にかけて2～3回程度**実施し、小麦の生育に応じて土の量を増やします。土塊が大きくなるように、麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。なお、できるだけ**麦踏み前**に実施し、麦が土に埋もれないようにします（麦踏み後に行う場合は生育が回復するまで待ちます）。

3 雑草防除

発生している雑草の草種に合わせた薬剤の選択が重要です。ほ場の雑草を確認し、こよみや下記を参考に薬剤を選定しましょう。また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

既に、ハーモニー細粒剤Fを使用したほ場では、ハーモニーDFは使用できません。

| 薬剤名 | 適用雑草 | 使用時期 | 10a 当たり 使用量 | 備考 |
|----------------|-------------------------|---|-----------------------|---|
| ハーモニーDF | スズメテッポウ、 一年生 広葉雑草 | 播種後～ 節間伸長前 | 5～10g (水 100L) | <ul style="list-style-type: none"> ・使用回数：1回以内 ・ハーモニー細粒剤FとハーモニーDFは、いずれか1回しか使用できない ・<u>タデ</u>類に効果が高い |
| | 一年生 広葉雑草 | 節間伸長開始期～ 穂ばらみ期 (収穫45日前まで) | 3～10g (水 100L) | |
| エコパート フロアブル | 一年生 広葉雑草 | 節間伸長開始期まで (広葉雑草：2～4葉期) (ヤムガラ：2～6節期) (収穫45日前まで) | 50～100mL (水 100L) | <ul style="list-style-type: none"> ・使用回数：2回以内 ・<u>ヤムガラ</u>に効果が高い ・カラスノエンドウへの効果は劣る |
| バサグラン 液剤 | 一年生 広葉雑草 | 小麦の生育期 (収穫45日前まで) | 100～200mL (水 100L) | <ul style="list-style-type: none"> ・使用回数：1回以内 ・<u>キンポウゲ</u>類に効果が高い ・高温、晴天時に効果が高い |



〈ミチヤナギ〉



〈カラスノエンドウ〉



〈キンポウゲ類(トゲミキネノボタン)〉

・農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（①適用作物、②使用量や希釈倍数、③使用時期や総使用回数、④有効期限）を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！